

第3号議案 2020年度事業計画（案）について

認定資格審査委員会（岡野）

1. 認定ハンドセラピストの認定審査業務（新規・更新）を行う。
2. 認定臨床研修施設の認定審査業務を行う。
3. 他団体が企画申請する認定教育研修の認定審査業務を行う。
4. 認定ハンドセラピスト制度の推進に関わる会議の企画・運営を行う。
5. 認定ハンドセラピスト制度に関連する書類等の発行および管理を行う。
6. 認定ハンドセラピスト制度に関連するデータの管理を行う。
7. 専門作業療法士制度に関わる日本作業療法士協会との連絡調整を行う。
8. 事務局と連携し日本手外科学会主催 秋期教育研修会の講演者調整を行う。
9. 会員の研修会受講履歴を更新する。
10. 認定ハンドセラピスト制度に関する手引きや規約の整備を行う。
11. 円滑な認定試験を実施すべく計画する。
12. 認定試験の実施に向けて委員会を開催し、認定試験問題の作成ならびに見直しを行う。
13. 認定試験を2021年2月頃に実施（予定）する。

認定臨床教育委員会（田崎）

1. 認定ハンドセラピスト養成研修の開催について
2020年度は下記セミナーの開催を予定している。入門セミナーと上肢複合組織損傷等セミナー、機能解剖・触診セミナーと腱損傷・拘縮セミナーは同時開催する。

研修名	セミナー名	開催地	開催日程	定員
基礎	入門	京都	11月28・29日	120名
	評価	神奈川	11月7・8日	150名
	機能解剖・触診	福岡	延期(未定)	50名
応用実践	ハンドスプリント ベーシック	大阪	延期(未定)	72名
	上肢複合組織損傷等	京都	11月28・29日	45名
	腱損傷・拘縮	福岡	延期(未定)	40名
研究・教育 ・開発	ハンドスプリント アドバンス	神奈川	延期(未定)	12名
	研究法	石川	中止	10名

※今後 COVID-19 感染症の影響により延期・中止の可能性もあります。下半期セミナーは COVID-19 感染症の状況を鑑みて8月に最終決定します。決定後、速やかに学会ホームページにてご案内いたします。

2. 新たに「スプリント update セミナー」（定員20名）を10月17日に群馬で開催予定であったが、中止とする。

3. 認定ハンドセラピスト制度の社会貢献単位取得のためのセミナー運営委員希望者の募集は、続けてセミナー申込フォームから行う。
4. 学会ホームページからのセミナーテキストダウンロード化を検討する。
5. 評価および機能解剖・触診セミナーテキストの改訂を行う。

認定臨床研修委員会（阿部幸）

1. 認定臨床研修施設の新規認定の受付を継続する。
2. 認定臨床研修修了証を交付する。
3. 認定臨床研修の推進に関わる事業を展開する。
4. 認定臨床研修に関わる COVID-19 感染症の対策を行う。

学術研究委員会（野中）

1. 学術集会事業関連
 - 1) 学術集会開催への支援、協力、学会長の推薦を行う。
2. 学会誌事業関連
 - 1) 学会誌のオンライン投稿受付、管理、編集、発刊業務を行う。
 - 2) 過去の学会誌の在庫管理を行い、電子ジャーナル化を随時行う。
 - 3) 学会誌の投稿、査読マニュアルを完成する。
3. 会員支援研究助成事業関連
 - 1) 研究助成事業の募集および管理業務を行う。
4. セミナー・教育事業関連
 - 1) 2020年10月に第3回全国研修会を岡山市で開催予定であったが2021年度に延期する。
 - 2) 日本作業療学会のセミナーに応募および開催する。
 - 3) DVD作成の管理業務を行う。

機能評価委員会（越後）

1. 新しい評価作成のための研究関連
 - 1) 2020年度内に QOL・ADL 評価マニュアルを発刊する。
 - 2) パフォーマンス班は機器の試作のための会議を開催する。
2. 評価マニュアル関連
 - 1) 握力測定マニュアルを学会ホームページに公開する。
 - 2) 関節可動域測定マニュアルと筋力測定マニュアルを順次作成し、学会ホームページに公開する。
3. 日手会機能評価委員会との共同事業について
 - 1) 日本手外科学会の機能評価委員会に出席する。
 - 2) 学会ホームページにて公開中の SWM マニュアルについて、日本手外科学会ホームページにリンクを設定する。

国際交流委員会（西村）

1. 第15回 IFSSH & 第12回 IFSHT（ロンドン）に関する情報を収集する。
2. 第13回 APFSSH & 第9回 APFSHT の運営準備等に協力する。
3. 2020年度留学支援制度を募集予定であったが中止を検討中である。
4. 2020年度国際学会参加支援制度を募集予定であったが中止を検討中である。

広報委員会（藤目）

1. 学会ホームページの更新を行う。
2. 学会ホームページの英語版を構築する。
3. 各委員会と連携して、ホームページからの関連書類のダウンロードおよび既存オンラインシステムの調整を継続する。
4. SNSによる広報活動を行う。

将来計画委員会（大山）

1. 本学会およびハンドセラピィに関する将来像を検討し、教育・研究・国際貢献・診療等に関する基本構想および基本構想に向けた具体的な方策案を検討する。
2. 本学会およびハンドセラピィに関する将来の委員会組織等の拡充整備構想について検討する。
3. 英語版ホームページの作成、外国人研修制度、英文雑誌の発刊等、グローバル化に向けての戦略について検討し、提案する。

規約委員会（笹原）

1. 他局および他委員会と連携し、規約等の整備を適宜行う。
2. 新規委員会の設置に伴い、会務運営細則並びに組織図の整備を行う。
3. 広報委員会と連携し、更新した規約集を学会ホームページへアップロードする。

社会保険等委員会

1. 将来計画委員会と連携し、セラピストが作製する熱可塑性スプリントシートを用いたスプリントの診療報酬収載に向けた基礎資料の作成を継続する。

キャリアアップ委員会

1. 2019年度に実施したアンケート結果を踏まえ、学術集会時の託児の在り方などについて学会の取り組みを示す。必要に応じて会員へのアンケート調査を実施する。
2. 日本手外科科学男女共同参画ワーキンググループと共同し、託児をはじめ、参加しやすい学会の在り方について具体的な方策を立てる。

診療ガイドライン委員会

1. ワーキンググループ組織を形成し、主要疾患の診療ガイドラインを作成する。

災害対策委員会（渡邊）

1. 2020年度中に災害救助法適用される災害に対して災害対策本部を設置し、都度ホームページに掲載する。
2. COVID-19感染症に対する会務並びに会員支援対策を行う。

事務局（蓬萊谷）

1. 会員情報管理、入会申請および受理の手続き、退会手続き、賛助会員情報の更新を行う。
2. 各種問い合わせに対応する。
3. 公文書の発行および管理をする。
4. 定例理事会準備および開催（4回開催予定）と臨時理事会を開催する。
5. 総会の準備を行い、開催する。
6. 日本手外科学会主催 秋期教育研修会の調整を認定資格審査委員会と連携し行う。
7. 各委員会、他団体との連絡調整を行う。
8. SW-test 講習会を下記の通り開催する。

講習会名	日時	定員数
基礎研修手の評価セミナー (聖マリアンナ医科大学病院)	2020年11月7日(土)8日(日)	150名
第1回SW-test講習会 (慶応義塾大学病院)	2021年1月(詳細未定)	150名

※下半期セミナーは COVID-19 感染症の状況を鑑みて 8 月に最終決定します。決定後、速やかに学会ホームページにてご案内いたします。

9. SW-test DVD 講習会を実施する。
10. SW-test 講習会に関連して関係諸団体と連携する。

財務局（阿部薫）

1. 会員・新入会会員・賛助会員の年会費振込管理、未納者・退会者への対応を行う。
2. 学会会計管理を行う。
3. セミナー参加費の振込管理、辞退者への対応を行う。
4. セミナー運営費用の準備、収支管理を行う。
5. セミナー参加費・運営費の管理方法を整備する。
6. 学術集会収支のとりまとめを行う。
7. 源泉所得税、法人市民税・府民税・消費税の納税を行う。
8. 支払調書の送付を行う。
9. 学会誌、精密知覚検査マニュアル販売に関わる諸対応を行う。
10. 各助成事業費の精算に関わる諸対応を行う。
11. 財務局業務分掌マニュアルの作成をすすめる。
12. COVID-19 感染症の状況に応じて補正予算を検討する。